



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社 名村造船所

上場取引所 東

コード番号 7014 URL <http://www.namura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 名村 建介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営業務本部長 (氏名) 池邊 吉博

TEL 06-6543-3561

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

平成29年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	70,484	3.4	2,201		2,651		2,888	
29年3月期第2四半期	68,166	3.9	7,854		9,120		10,391	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 3,067百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 10,806百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	41.85	
29年3月期第2四半期	150.59	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	206,516	94,578	45.4
29年3月期	208,201	98,197	46.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 93,797百万円 29年3月期 97,359百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		7.00		8.00	15.00
30年3月期		5.00			
30年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	2.0	4,200		4,400		4,700		68.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	69,038,551 株	29年3月期	69,038,551 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	32,610 株	29年3月期	32,229 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	69,006,151 株	29年3月期2Q	68,999,340 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は緩やかな回復基調が続いておりますが、欧米・東アジアの政治や経済情勢の不確実性への懸念など先行き不透明な状況が続いております。

日本造船工業会によりますと、平成29年1月から6月までの世界新造船竣工量は3,986万総トン（前年同期比0.1%減）、新造船受注量は1,306万総トン（前年同期比5.3%増）であります。受注不振が続き手持工事量の確保が急務となっている韓国や中国の造船所が政府の支援を後ろ盾に安値攻勢で受注を進めたことから新造船受注量は若干ながらも増加し、新造船価の上昇を妨げる主因にもなっております。ただ、受注量は竣工量の三分の一にも達しておらず、過剰船腹の調整は着実に進んでいる海運・造船の業界環境には潮目が変わりつつある兆しが見られます。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上計上の平均レートが前第2四半期累計期間よりも円安となったこともあり、売上高は70,484百万円（前年同期比3.4%増）となりました。損益面では、中核である新造船事業において、連結財務諸表提出会社である当社単体では営業利益を確保いたしましたでしたが、連結子会社である佐世保重工業株式会社が主力商品である中型撒積運搬船の新造需要低迷期に商品のバランス化を図るために戦略的に手掛けた新船型の中型油送船（アフラマックスタンカー）の建造において、過去の建造実績から数年間のブランクがあったこともあって、工数増加・工程遅延による製造原価の想定以上の増加が生じたこと、工事損失引当金を積み増したことなどにより、営業損失は2,201百万円（前年同期は7,854百万円の営業損失）、経常損失は2,651百万円（前年同期は9,120百万円の経常損失）、当第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純損失は2,662百万円（前年同期は8,014百万円の純損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2,888百万円（前年同期は10,391百万円の純損失）となりました。

主力の新造船事業は、売上の対象となる隻数・船型・船価は四半期毎に異なります。また、資機材価格や為替などの大きな変動要因があり、それに伴って採算も変動いたします。工事損失引当金額につきましても、受注残全船を対象に四半期毎の洗い替えによる増減に加え、新規受注に伴う新たな計上もあり得ます。これらの事情もあって第2四半期業績と年度業績とは必ずしも連動いたしません。

なお、当第2四半期連結会計期間末の工事損失引当金につきましては、第1四半期連結会計期間末の13,609百万円から12,756百万円に減少しております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 新造船事業

受注から完工まで1年を超える新造船事業では工事進行基準を採用しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は52,308百万円（前年同期比0.1%増）となり、2,416百万円の営業損失（前年同期は7,866百万円の営業損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、大型鉱石運搬船1隻、中型油送船4隻、中型撒積運搬船3隻、ハンディ型撒積運搬船4隻の合計12隻を完工し、中型油送船1隻、中型撒積運搬船7隻、ハンディ型撒積運搬船2隻の合計10隻を受注した結果、受注残高は254,309百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

佐世保重工業株式会社のアフラマックスタンカー建造による工程混乱は、当社と共に収束に向けて全力で取り組んでおり、厳しい市場環境が続いておりますが、グループ全体として戦略的かつ積極的な商品開発と受注活動を継続し、適正操業度を確保することでコスト競争力と生産性、技術開発力、品質の向上を図り、顧客満足度のさらなる改善に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間における売上計上の米ドル額は461百万米ドルで、その平均レートは1米ドル当たり111円66銭であります。

#### ② 修繕船事業

佐世保重工業株式会社および函館どつく株式会社が中核を担う修繕船事業におきましては、主力である艦艇工事および一般商船の修繕工事に積極的に取り組んでおります。当第2四半期連結累計期間は、函館どつく株式会社において前年度から実施していた艦艇の大型修繕工事が完工したことや営業努力による操業度の改善もあって、売上高は9,009百万円（前年同期比20.5%増）、営業利益は478百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の受注残高は3,557百万円（前年同期比47.6%減）であります。

③ 機械事業

佐世保重工業株式会社およびオリイメック株式会社が担う機械事業につきましては、船舶用機器および産業機械等の分野で受注および売上の拡大に努めております。当第2四半期連結累計期間は、特に産業機械分野において主要顧客である自動車産業の設備投資が堅調に推移し、ばね部門も好調であったことから、売上高は5,131百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は389百万円（前年同期比64.3%増）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の受注残高は6,578百万円（前年同期比27.2%増）であります。

④ 鉄構陸機事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は大型工事案件を計上した影響もあり、1,902百万円（前年同期比104.0%増）となりましたが、大型工事における採算割れもあって98百万円の営業損失（前年同期7百万円の営業損失）となっております。鉄構陸機事業を取り巻く環境は厳しいものがありますが、厳しい受注競争に勝ち残れるよう受注力の強化を図り、確実に利益を確保できる体質の確立に努めてまいります。

なお、当第2四半期連結会計期間末の受注残高は5,620百万円（前年同期比15.3%増）であります。

⑤ その他事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は2,134百万円（前年同期比12.5%減）となり、309百万円の営業利益（前年同期比15.4%減）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の受注残高は418百万円（前年同期比25.1%減）であります。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前受金の減少に伴い現金及び預金が減少したこと等により、前連結会計年度末比4,765百万円減少し、147,861百万円となりました。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、主に有形固定資産が増加したこと等により、前連結会計年度末比3,080百万円増加し、58,655百万円となりました。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、工事損失引当金が増加したものの、主に前受金が減少したこと等により、前連結会計年度末比1,114百万円減少し、86,985百万円となりました。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、主に長期借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末比3,048百万円増加し、24,953百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、主に利益剰余金が減少したことにより、前連結会計年度末比3,619百万円減少し、94,578百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績予想に関する事項につきましては、現時点においては平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想を据え置いております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	98,176	96,175
受取手形及び売掛金	36,966	37,115
商品及び製品	1,532	1,550
仕掛品	7,298	5,387
原材料及び貯蔵品	1,641	1,970
その他	7,013	5,664
流動資産合計	152,626	147,861
固定資産		
有形固定資産	42,630	43,914
無形固定資産	457	468
投資その他の資産	12,488	14,273
固定資産合計	55,575	58,655
資産合計	208,201	206,516
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,330	20,430
電子記録債務	11,127	12,468
短期借入金	6,116	4,554
未払法人税等	312	478
前受金	30,030	26,390
工事損失引当金	10,376	12,756
その他の引当金	1,873	2,033
その他	7,935	7,876
流動負債合計	88,099	86,985
固定負債		
長期借入金	11,567	14,569
その他の引当金	535	602
退職給付に係る負債	5,541	5,664
その他	4,262	4,118
固定負債合計	21,905	24,953
負債合計	110,004	111,938

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,112	8,112
資本剰余金	33,911	33,911
利益剰余金	54,344	50,904
自己株式	△15	△15
株主資本合計	96,352	92,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,475	1,568
繰延ヘッジ損益	31	△225
為替換算調整勘定	729	645
退職給付に係る調整累計額	△1,228	△1,103
その他の包括利益累計額合計	1,007	885
新株予約権	240	240
非支配株主持分	598	541
純資産合計	98,197	94,578
負債純資産合計	208,201	206,516

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	68,166	70,484
売上原価	72,007	68,659
売上総利益又は売上総損失(△)	△3,841	1,825
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,621	1,647
その他	2,392	2,379
販売費及び一般管理費合計	4,013	4,026
営業損失(△)	△7,854	△2,201
営業外収益		
受取利息	60	40
受取配当金	102	125
受取保険金	-	69
その他	105	94
営業外収益合計	267	328
営業外費用		
支払利息	181	157
支払手数料	23	73
固定資産除売却損	66	155
為替差損	1,153	76
損害賠償引当金繰入額	-	270
その他	110	47
営業外費用合計	1,533	778
経常損失(△)	△9,120	△2,651
特別利益		
固定資産売却益	507	-
契約解約益	731	-
特別利益合計	1,238	-
特別損失		
投資有価証券評価損	126	0
減損損失	6	11
特別損失合計	132	11
税金等調整前四半期純損失(△)	△8,014	△2,662
法人税、住民税及び事業税	178	322
法人税等調整額	2,409	△36
法人税等合計	2,587	286
四半期純損失(△)	△10,601	△2,948
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△210	△60
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,391	△2,888

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△10,601	△2,948
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	126	94
繰延ヘッジ損益	17	△256
為替換算調整勘定	△490	△83
退職給付に係る調整額	142	126
その他の包括利益合計	△205	△119
四半期包括利益	△10,806	△3,067
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,584	△3,010
非支配株主に係る四半期包括利益	△222	△57

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△8,014	△2,662
減価償却費	1,872	2,007
減損損失	6	11
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	188	251
工事損失引当金の増減額(△は減少)	6,911	2,380
その他の引当金の増減額(△は減少)	384	317
受取利息及び受取配当金	△162	△165
支払利息	181	157
為替差損益(△は益)	211	△9
固定資産除売却損益(△は益)	66	155
固定資産売却損益(△は益)	△507	-
投資有価証券評価損益(△は益)	126	0
売上債権の増減額(△は増加)	△775	△157
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,602	1,556
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,337	1,450
前受金の増減額(△は減少)	△4,816	△3,635
その他	△4,369	△1,154
小計	△8,433	502
利息及び配当金の受取額	165	166
利息の支払額	△179	△154
法人税等の支払額	△895	△138
法人税等の還付額	1,117	678
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8,225	1,054
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,608	△3,546
有形固定資産の売却による収入	1,879	32
無形固定資産の取得による支出	△136	△92
投資有価証券の取得による支出	△158	△199
投資有価証券の売却及び償還による収入	-	2
貸付けによる支出	△5	△9
貸付金の回収による収入	10	9
その他	67	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△951	△3,817
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,605	2,202
短期借入金の返済による支出	△2,610	△3,190
長期借入れによる収入	-	4,533
長期借入金の返済による支出	△2,345	△2,113
配当金の支払額	△690	△552
非支配株主への配当金の支払額	△98	△1
その他	△110	△92
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,248	787
現金及び現金同等物に係る換算差額	△237	△25
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,661	△2,001
現金及び現金同等物の期首残高	104,308	98,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	91,647	96,175

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)  
前連結会計年度末日と比較して著しい変動が認められないため、記載しておりません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	新造船	修繕船	機械	鉄構陸機	その他			
売上高								
外部顧客への売上高	52,248	7,474	5,071	933	2,440	68,166	—	68,166
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	733	733	△733	—
計	52,248	7,474	5,071	933	3,173	68,899	△733	68,166
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△7,866	419	237	△7	365	△6,852	△1,002	△7,854

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,002百万円には、セグメント間取引消去△24百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△978百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務部、経営管理部等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	新造船	修繕船	機械	鉄構陸機	その他			
売上高								
外部顧客への売上高	52,308	9,009	5,131	1,902	2,134	70,484	—	70,484
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	600	600	△600	—
計	52,308	9,009	5,131	1,902	2,734	71,084	△600	70,484
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△2,416	478	389	△98	309	△1,338	△863	△2,201

(注) 1 セグメント利益の調整額△863百万円には、セグメント間取引消去△27百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△836百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務部、経営管理部等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な事項はありません。

## 3. 補足情報

## 受注及び販売の状況

## (1) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期 増減率(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期 増減率(%)
新造船事業	30,183	189.8	254,309	△10.1
修繕船事業	6,946	24.3	3,557	△47.6
機械事業	7,045	24.1	6,578	27.2
鉄構陸機事業	1,356	△13.3	5,620	15.3
その他事業	2,019	△12.5	418	△25.1
合計	47,549	86.1	270,482	△9.9

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
2 上記の金額は、工事完成基準で記載しております。

## (2) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期増減率(%)
新造船事業	50,492	△6.5
修繕船事業	9,009	20.5
機械事業	5,131	1.2
鉄構陸機事業	1,374	47.3
その他事業	2,134	△12.5
合計	68,140	△2.5

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
2 上記の金額は、工事完成基準で記載しております。